学校と家庭・地域を結ぶ通信

◆校報 たいらだて

令和7年11月17日

第 13 号

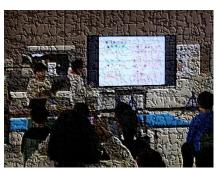
八幡平市立平舘小学校

文責:長山 政志

## 伝統をつなぐ! 150周年成果発表·記念式典

11月1日(土)、朝方は激しかった雨。しかし、成果発表が始まる頃には止み、子ども達の発表を後押ししてくれているようでした。ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にはお忙しいところ参観、式典へのご出席大変ありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

さて、今年で2年を迎えた成果発表会はいかがだったでしょうか。各学年の学習活動に計画している生活科や総合的な学習の時間を中心に、他教科と組み合わせながらつけたい力の育成を図ってきた内容の発表でした。今、各教科の時数が標準的な時間よりも、大きく超えないように計画を立てるようになっています。そのような中本校では、時間を大きく変えるのではなく、様々な学習を組み合わせることによって効果的に力をつけようと取組んでいます。ご覧いただいたように、子ども達はより自分の課題として学習に取り組み、相手を意識して伝えようとがんばりました。校内発表では、上級生から表現の仕方や、見せ方の良かったところを誉められました。一方、「こうする





ことでもっとわかりやすい。」といった指摘も受けて修正したものが、当日の発表でした。ご覧いただいた方々のご質問やご意見、実際に教えていただいた方々からのフィードバックは、子ども達の励みとなり次の学習の深まりにつながります。たくさんのご質問やご意見ありがとうございました。6年生は佐々木市長にも意見を求め、「皆さんの考えは小学生とは思えないほど素晴らしい。市としても考えを参考にしていきたい。」というようなお話をいただきました。保護者の皆様からは、「一から作り上げることの大変さと達成感を味わえた様子。仲間と一緒に作り上げてもっと仲良くなれた。」や「子供達の学習を通した学びの発表を拝見でき年に 1 度のこの機会が有難いなと感じます。1 年経つだけで発表する姿勢はもちろんですが、まとめ方や調べた内容の濃さ,質問に対する答えが大きく変わっていくので我が子だけでなく、他の子供達の成長も強く感じられました。」というご意見もいただきまし



た。ただ、運営面には課題もございますので、次年度に向けて検討していきたいと思います。

記念式典では、名誉市民であり本校の校門をくぐった江間章子さん作詞、「夏の思い出」を歌い、児童会長からこれまでの感謝と自分たちのこの学校にかける思いが語られました。心を打つ素晴らしいスピーチが、式典の後半を大いに盛り上げてくれました。

## 県警音楽隊演奏会 150周年記念事業

11月13日(木)150周年記念事業の一つとし て、県警音楽隊による演奏会が、本校体育館で開かれま した。全校児童、学校運営協議会の皆様、保護者でいっ ぱいに埋まった体育館での演奏会となりました。「本物」 を見せたい!」という記念事業部の熱意で実現したもの! です。生の演奏とカラーガードの動きに子ども達の目と 耳は、くぎ付けとなりました。子ども達になじみのある。 楽曲の演奏となると、歓声とともに大きな手拍子で会場 が一体となりました。県警音楽隊の皆様と、ここまで準 備いただいた記念事業部の皆様に感謝です。ありがとう ございました。



少年少女の詩江間章子賞

入選

市社会福祉協議会標語

優秀賞 菜々子さん

優良賞 蒼依 さん

平和ポスターコンクール

詩乃さん 作品名「夢のスケッチブック」

楓 さん 作品名「天気の感情」

咲帆さん 作品名「やってみたいの木」

桜舞さん 作品名「雨の日」

市読書感想文コンクール

特選 寿音さん 由奈さん

佳作 莉梛さん 大和さん 里穂さん 颯人さん



- 児童会執行部の子どもに、突然でしたが聞いてみました。それは、執行部になってみ てどう思うかということです。その子からの答えは、次の通りでした。①大変そうだ から、なろうかどうかとかなり悩んだ。②やっているうちに仕事に慣れてきた。③や ってみて勉強なったし、すっかり慣れた。ということでした。「好きなこと」「やり たいこと」を…という風潮があります。しかし、「やり続けること」「やってみるこ と」によって、好きになったり、やりがいを感じたりすることがあるはずです。この 子どもにとっては、大きな学びとなったこと思います。「いい学びをしたね」と伝え ました。
- ◆ 毎朝のように昇降口や、横断歩道のところで子ども達からいろいろ なことを話しかけられます。ある時は昨日家であったこと、またあ る時は週末に出かけたことやスポ少のこと、ある時は学校であった ことと様々です。そのたびに思うことがあります。「話してくれ てありがたいなあ」ということです。人は、誰かに思いを言葉にす ることで、何か満たされるところがあるのではないでしょうか。 もしも子ども達にとって、そのような時間になっているのならば嬉 しい限りです。

